

ふらっと.come!

令和4年7月25日 第76号

発行者 特定非営利活動法人船橋福祉相談協議会

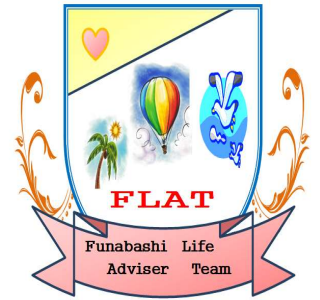
基幹相談支援センター「ふらっと船橋」

〒273-0021 船橋市海神1-31-31 シュネス海神101

TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776

HP <http://flat-funabashi.com/>

Email flat-funabashi@key.ocn.ne.jp



思いのベクトルはどこに ↗ ?

基幹相談支援センター統括所長 清水博和

今年の梅雨はいつだった?と振り返っても記憶に残らない梅雨。その代わりでは無いだろうが突然の豪雨にあたふたしてしまい空を見上げながらの雨宿り。気象に関しては全くの素人なため、天気予報や天気アプリを気にしつつ訪問や同行の調整をしています。

他県に出向く事がありその地区のセンターの方と話をしている、最近は少しずつ「総合相談や基幹相談」等の理解や共有が図れてきていると感じていたが、「機関連携」についてはまだまだ理解や共有の見誤りが多いと言う梅雨空に逆戻りになる様な話を耳に・・・相談センターとして関係機関からの相談や依頼に対しては可能な限り、内容を聞いた上で共同支援を念頭にとっている点は当方も同様です。概ね相談員は実際にその様に動いていると思っています。しかし、共に動く上でのルールを無視した依頼には中々応えきれない事もあるとの意見にも賛同します。

話の一例として、基本的な情報提供も無く本人にも会えないままの同行依頼。事前に本人と会う機会の調整や書面等での本人情報が無いまま電話で要件を主張する。これは受ける受けないの判断以前の話であり、受ける側の情報提供等の提案について対応なしに「おたくは何もしてくれないのか」と言い放つ。依頼事業者が対応できない理由を聞いてみるとその返事は「忙しいから」と。この話をされながらセンターの方は、諸々含めて「残念です」と言われていました。私には想像の域を出ませんが、その対象の方に向けた言葉なのかと受け止めました。この様な話はここだけの話では無くまだまだ多いのではないかと感じています。

さて、最近の出来事と言いますかとても前向きな事業所の話の一つさせて頂きます。その事業所内における利用者支援について支援者間での考え方や価値観、管理者の理念等のすり合わせを含めた勉強会に呼ばれました。一人の利用者への関わり方についてシンプルにどうして良いのかを皆さんが悩み実践しつつもクリアし難い悩み。皆さんも同様ではあるでしょうが、この事業所は立上げの時点から地域や障害や特性における対応等について、当方に相談をされ助言を求めています。キーワードは「本人の意志」と福祉サービスとしての折り合いと言いますか集団における個の尊重がどこまで可能か・・・支援者の方々の対応や思い、考え方を共有しながらとても前向きな時間を過ごしてきました。これは当方へ相談に来たことがメインではなく、「分からない事、不安な事」にしっかり向き合い、先送りをしないという事業所の姿勢や他機関との連携を支援の一つとして実践されている事にその意味があると感じています。冒頭の文面に記載したセンターからの話とは異なる考え方だと思います。「質を高める」や「人材育成」という様な切り口からではなく、シンプルに関りや支援についての疑問、不安などに向き合って認知していく事で向上していく事を支援者の方々の真剣な表情から伺えました。私が所属している少年サッカークラブの顧問から言われた言葉に、教えるのではなく考えさせる事「ティーチングではなくコーチング」が大切と。引き合いが違うかも知れませんがこの言葉はいつも頭にあり、自身も日々の業務では考えさせられております。

よろしくお願いいたします

船橋市福祉サービス部障害福祉課
給付事業係 係長 水澤 睦

日頃より、船橋市の障害福祉行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和4年4月1日付で、障害福祉課給付事業係長に着任いたしました水澤と申します。

私は、平成8年4月に船橋市役所に入庁し、農業委員会事務局、情報システム課（現在のデジタル行政推進課）、保健体育課（教育委員会）、戸籍住民課を経験し、26年目にして初めて福祉サービスの業務に携わることになりました。

私が所属する給付事業係は、障害者手帳（身体・療育）や各種手当、医療費の助成、意思疎通支援事業などを担当しております。4月から障害福祉課で過ごした3カ月は、一つ一つの業務が、お身体に障害をお持ちの方やそのご家族にとって、とても大切なサービスであると改めて実感させられると共に大変重い責任を感じる毎日でした。

福祉業務についての知識がゼロからのスタートとなってしまいますので、まずは一つ一つの業務を覚え、経験を重ねさせていただき、一日も早く障害福祉サービスを必要とする皆様のお力になれるよう成長していきたいと考えております。

また、私たちの業務は、障害福祉サービス等事業所の皆様のご協力も必要不可欠であると存じますので、何卒、ご協力をいただきながら、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

はじめまして

ふらっと船橋 相談員 櫻井昭恵

6月から、ふらっと船橋に勤務しております櫻井 昭恵と申します。

5月までは、病院の相談員をしておりました。病院の相談員は大変ですが、元気に退院する姿を見る度に、喜びと嬉しい気持ちでいっぱいになります。しかし、退院支援で出来る調整を行ったと思いつつも、退院後、自宅で問題なく過ごせているか心配になることがありました。そんな中、障害のある息子さんと同居している患者さんとの出会いが、自宅生活の大切さと共に、高齢や障害により困難なことが多いと改めて気付かせてくれました。そして、退院後の生活が気になるなら、地域の相談員として、生活のしづらさや生きづらさのある人に、寄り添った支援が出来る人になろうと思いました。皆様、今後ご指導の程、宜しく願い申し上げます。

お知らせ

研修会「障害者グループホーム等支援事業 について～船橋市はどう考える～」

日時：R4年8月5日（金）10:00～12:00

場所：船橋市勤労市民センター 第1, 2会議室

パネラー 千葉県グループホーム等支援ワーカー

市川圏域 岩崎 淳 氏

習志野圏域 森井 真里 氏

（社福）彩会 理事長 平山 隆 氏

進行 社会福祉法人大久保学園

船橋市グループホーム連絡協議会事務局 宮本 福太郎氏

基幹相談支援センターふらっと船橋 所長 清水 博和

参加費：無料 **定員**：65名

申込み締め切り：7月29日



募集

当法人（NPO法人船橋福祉相談協議会）

では相談員の募集を
しております♥

ご連絡はふらっと船橋の清水までお願い
します。